

5 S-06 Web-site 上における情報リテラシー教育用コースウェアのシステム設計について

川 本 勝・福岡敬

近畿大学理工学部

1. はじめに

我々のグループが大学で担当している情報教育科目のテキスト^{1)~6)}と実習内容に沿って、以前から開発を進めている Web-site を利用した情報教育用のコースウェア^{7)~9)}に関して、学生が参照した履歴情報が残るようにした部分を含めた全体的な設計を、今回新たに発表する。

2. システム・デザイン

システムは、データ・ファイル的にはコースウェアのコンテンツの部分以外に、ユーザーが参照した履歴情報を記録しておくファイルとユーザーのQ & Aを記録しておくファイルの、主に3種のデータ・ファイルから成っており、そして、これらのデータを有機的に関連させて連動させるメニュー形式のプログラム群が付随している(図1参照)。

ユーザーの画面には、ログイン画面から始まって、コースウェアのコンテンツ・メニュー、Q & AおよびFAQなど一連の画面がホームページ形式で現れる。

アクセスしているユーザーが正規の者であるか否かは、ログイン時にユーザーを登録したデータベースを参照して同定される方式は、従来のものと変わりが無い。

ユーザーの参照履歴は、ユーザーIDをキーにして、日時、参照ページ番号などが付加された情報としてファイルに記録される。

Q & AとFAQは、Q & Aファイルとして一元化された過去からの蓄積ファイルが作成されるようになっており、FAQは、参照時にFAQプログラムが「検索と並べ替え」を行って、FAQメニューに表示する。Q & A用BBSはFAQメニューに付随して現れる。FAQプログラムは、複数のキーワードによってQ & Aファイルを条件検索し、日時順に並べなおして表示する。

3. 今後の課題

今後の課題はまず、出来るだけ早い時期にシステム全体を完成させて完全運用に入る事である。

次に、運用結果のデータを収集し、教育工学的に分析する事である。

そして、システム全体を更にグレードアップし、テキストや授業内容にフィードバックする事である。

The System Design about the Computer-Literacy Course-ware on the College Web site

Masaru Kawamoto

Faculty of Science & Technology, Kinki University

3-4-1 Kowakae, Higashi-Osaka, Osaka 577-8502, Japan

E-mail: kawamoto@msa.kindai.ac.jp

4. まとめ

Web-site 上に情報教育用コースウェアを構築する際のシステム設計について,新たに考案した.今回は,本文以外にQ & A用のBBSやFAQ,アクセスの履歴情報に関する部分までを含めたシステム設計について考案している.

今後は,アクセスの履歴情報を用いて,教育工学的な分析できるようにする予定である.更に運用面での効率化も考えたい.

5. 引用文献

- 1) 川本勝 : FORTRAN入門, 新風書房(1999)
- 2) 窪堀俊文, 川本勝 : 機械製図 (CAD) 指導書プリント, 近畿大学理工学部 (1998)
- 3) 星山幸子 : AutoCADテキスト, 近畿大学理工学部 (1999)
- 4) 星山幸子 : VIZテキスト, 近畿大学理工学部 (1999)
- 5) 川本勝, 福岡敬, 星山幸子 : 電子計算機基礎授業プリント, 近畿大学理工学部 (1998)
- 6) 川本勝, 福岡敬, 田辺睦子 : 情報処理基礎テキスト, 近畿大学理工学部 (1999)
- 7) 川本勝 : 大学の情報処理教育におけるホームページを用いたコースウェアの開発. 情報処理学会第59回全国大会, 4-237 (1999)
- 8) 川本勝 : 大学のCAD教育におけるホームページを用いたコースウェアの開発と利用について. 日本教育工学会第15回全国大会, 2pD-06 (1999)
- 9) 川本勝 : 大学の情報処理教育におけるホームページを用いたコースウェアの開発の標準化について, 情報処理学会第60回全国大会, 4M-05 (2000)

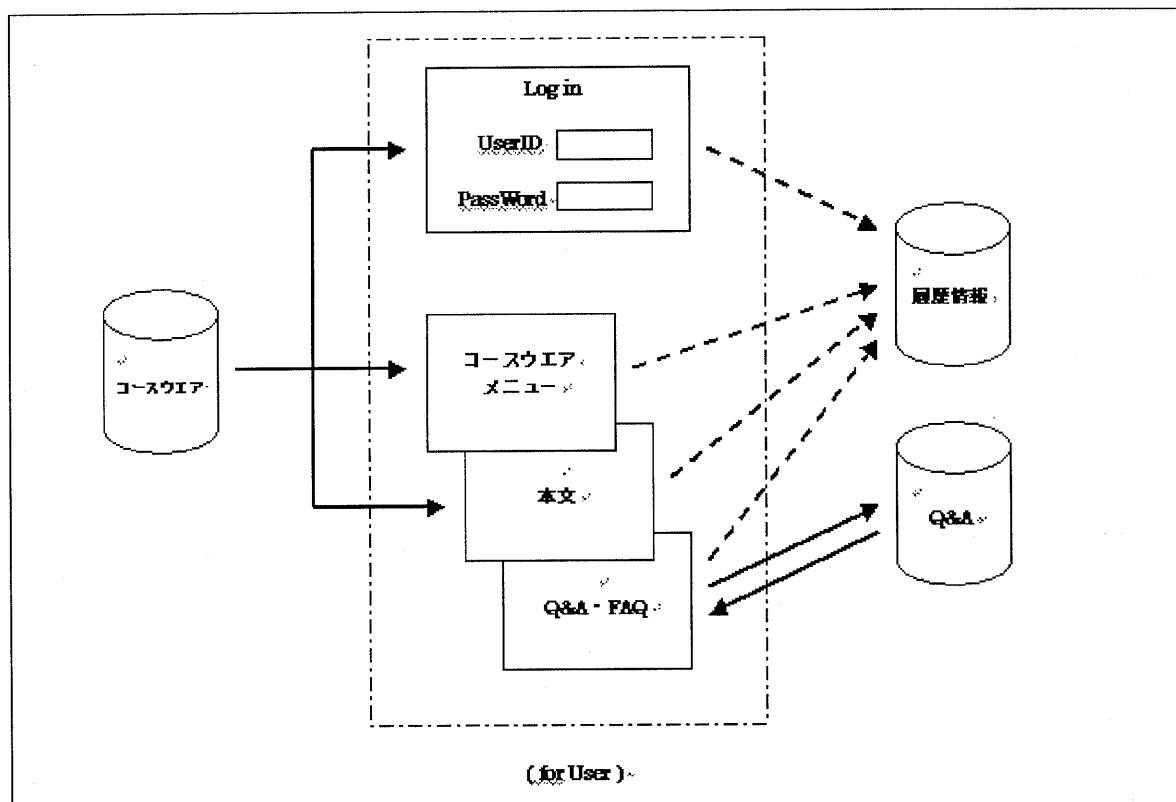


図 1